

初期新高ドイツ語中辞典作成の試み (1)¹⁾

ab~abtun

工藤 康弘

初期新高ドイツ語（1350～1650年）の語彙を日本語で説明する辞典として、筆者は2018年『初期新高ドイツ語小辞典』（大学書林）を出版した。体裁としては A.Götze の Frühneuhochdeutsches Glossar (de Gruyter) や Ch.Baufeld の Kleines frühneuhochdeutsches Wörterbuch (Niemeyer) と同じく、見出し語と語の意味だけで構成されており、例文はついていない。これと対極をなすのが今も分冊で刊行中の Frühneuhochdeutsches Wörterbuch. Begründet von R.R.Anderson/ U.Goebel/ O.Reichmann (de Gruyter) である。ここには多くの例文が出典とともに載っている。De Gruyter 社のウェブサイト (<https://www.degruyter.com>) やこの辞典をインターネットに公開しているウェブサイト (<https://fwb-online.de/>) によると、2027年に完成する予定である。この辞典を大辞典とするならば、日本語で書かれた『初期新高ドイツ語小辞典』の次に必要な、そして作成可能なものは中辞典規模の初期新高ドイツ語辞典である。以下では中辞典の構想を簡単に述べ、見出し語 ab から abtun までの記述を試みる。

『初期新高ドイツ語中辞典』は小辞典と異なり、日本語訳をつけた例文を載せる。例文は主に小辞典を作成した際の資料、およびその後集めた資料から抽出する。必要に応じて Frühneuhochdeutsches Wörterbuch (de Gruyter) や Grimm のドイツ語辞典からも、引用の断りを入れたうえで例文を取り入れる。ただ、辞典の例文はテキストの一部を切り取ったものであり、前後のコンテキストがあるとしてもわずかである。こういう悪条件のもとで文意を把握し、日本語の訳文をつけるのは容易なことではない。ある見出し語に関して、語の意

味が3つある場合、3つすべてに対して例文をつけるのが理想であるが、訳出が困難なときは例文を挙げないという選択肢もあり得る。

中辞典ではさらに、Frühneuhochdeutsches Wörterbuch (de Gruyter), A. Götze や Ch.Baufeld の小辞典, Grimm のドイツ語辞典, H.Paul のドイツ語辞典, 語源辞典などの記述を適宜紹介し, 読者が語史的, 語源的な情報を得られるようにする。本稿およびそれに続く論考で, 例文と語史的, 語源的な情報を含んだ辞典の作成を試み, 将来的な初期新高ドイツ語中辞典へつなげたい。

以下, 辞典の部に関して, 『初期新高ドイツ語小辞典』の編集方針をもとに, 加筆修正したものを箇条書きで記す。

- ・ 例文とその日本語訳は斜字体で記し, 見出し語に相当する重要な箇所は下線で示す。例文の出典および説明に利用した文献は FW, BK, PAULI のような略記号で表し, 巻末に略記号一覧を挙げる。Frühneuhochdeutsches Wörterbuch (de Gruyter) や Grimm の辞典等から引用する場合, その辞典の見出し語 (たとえば *abbitten* の項) またはページ番号だけを記し, 引用したテキストの著者や書名は原則として省略する。ボン・コルプスの場合はテキストの番号 (115, 235等), ページまたは紙 (Blatt) の番号, verso, recto の別, および行を記す。
- ・ 韻文は改行せず, 縦線 (|) でもって区切る。
- ・ 語史的, 語源的な説明をしたり, 他の辞典の記述を紹介する場合は★印を付して記述する。
- ・ 文字の上に小さな e があるなどの初期新高ドイツ語特有の表記は, 現代語の表記に改める。
- ・ 見出し語の表記は可能な限り現代語に近いものにする。
- ・ 書記法上の別形 (異形) がある場合, 見出し語の次にかっこ付きで示す。
- ・ b と p, f と v は区別し, 別々の箇所に配置する。
- ・ I, II は主として品詞の違いを示す。
- ・ 同じ名詞に2つの性がある場合, f./n. のように示す。

- ・名詞の性がわからない場合は「名詞（性不明）」とする。
 - ・類義語と反意語を【 】で示す。
 - ・特になじみのない強変化動詞には中高ドイツ語にならい、見出し語の次に「第I類動詞・reiten型」のように、母音交替のタイプと代表的な動詞を挙げる。
 - ・対応する語形が現代語に存在する場合は「=nhd.…」の形で記す。まったく異なる語でも関連づけるとわかりやすい場合は「vgl. nhd.…」の形で記す。ただし「=」と「vgl.」の区別は必ずしも厳密ではない。
- 以下、凡例のあとに辞典の部を記す。

凡 例

m. 男性名詞

f. 女性名詞

n. 中性名詞

pron. 代名詞

et. 物（3格または4格）「物」は事柄をも表す。

et.² 物の2格

et.³ 物の3格

jn. 人の4格

jm. 人の3格

js. 人の2格

sich 4格の再帰代名詞

sich³ 3格の再帰代名詞

pl. 複数形

adj. 形容詞

adv. 副詞

vi. 自動詞

vt. 他動詞

refl. 再帰動詞

unp. 非人称動詞

p.p. 過去分詞

p.a. 分詞形容詞

cj. 接続詞

präp. 前置詞

int. 間投詞

vgl. 参照

auch …も

etc. 等々

nhd. 新高ドイツ語

mhd. 中高ドイツ語

→ 別の見出し語を見よ

< 由来・もとの形を示す

人³物⁴ 人の3格と物の4格をとる。

2支（3支/4支） 2格（3格/4格）支配。（支配という用語は前置詞だけでなく、動詞や形容詞にも適用する）

（比）比喩的な意味，転義

（医）医学用語

その他（植物）（鉱物）（魚）等，適宜用いる。

ab I. → aber. II. präp. (=nhd. von) …から下へ，…から離れて. *floch das arm volk überall ab dem land in die stett.* 貧しい民衆はいたるところ，田舎から町へ逃げた. (FW, Bd.1, S.2. より引用) ; (=nhd. über) …に関して. *Alle die semlichs sahen/ verwunderten sich ab dem grossen gut* そのようなことを見た人はみな大きな財産に驚いた. (BK 235, 47ページ24行)

abbitten vt./vi. ①（人⁴の）釈放を求める。„Lieben Fründ, was hat doch der gut jung Gesel gethon? Wer nit für ihn zu bitten? Wir wolten alle helfen, das er möcht ledig werden.“ Die erbaren leute, die da zugegen stunden, sprachen: „Ach ja, es wer wolgethon, das ihr ihn abbetten.“ 「みなさん、その善良な若者が何をしたというのか。彼の助命嘆願はできないのか。私たちは彼が解放されるよう手助けしたい。」そこに居合わせたお偉方たちが言いました。「確かに、あなたがたが彼の釈放を求めることはいいことです。」（PAULI(1), 697話）★例文では abbetten とある。bitten と beten は語源的に関連しており、本書 bitten の項にあるように、両者は区別なく使われることがある。② 懇願によって遠ざける、免れる。Helff unß gott allen, das wir [...] seynen tzorn mit rechtem glauben abebitten. 私たちすべてが本当の信仰によって神の怒りを免れるよう、神が助けてくれますように。（FW より引用, Luther）③ 許しを請う。

abbrechen vt. ①（jm. et.）取り上げる、やめる、与えない。Es was uff ein Zeit einer ein Apt worden in einem Kloster, der brach den armen Lüten das Almusen ab, 昔ある修道院で一人の男が院長になりました。彼は貧しい人々への施物をやめました（PAULI(1), 60話）②（欲求などを）抑える。[...] da gewan die Frau den allergrößten Lust, auff den Hund zu sitzen und auff im zu reitten, das sie ir nit mocht in keinerley Weg abbrechen noch widerstandt kunth thun, するとその女性は犬にまたがって乗り回したいというきわめて大きな欲求に見舞われ、その欲求を抑えることも、それにあらがうこともできませんでした（PAULI(1), 705話）

abbruch m. ①（an et.）節制、禁欲。Es sein auch die, die ir Hauß, das ist iren Leib verderben mit unvernünfftigem Abbruch an Essen und an Trincken, また愚かにも飲食を控えることで自分の家、すなわち自分の肉体を損なう人たちもいる（PAULI(1), 37話）② 損なうこと、損害。Damit das nieman geergert werde und dem Gesetz kein Abbruch geschehe, 誰も腹を立てないよ

うに、また法が損なわれないように (PAUL(1), 226話)

abdäuen (別形については *däuen* 参照) vt. 消化する. = nhd. *verdauen*.

【類義語 *dauen*】 *nach dem sie nun gessen hand/[...]/ seind sie auffgestanden/ unnd in einen schonen lustigen garten spatzieren gangen/ die speiß abgedeüwet* 彼らは食事をとったあと […] 立ち上がり、素敵で心地よい庭を腹ごなしに散歩しました (散歩して食べ物を消化しました) (KNAB. SPIEGEL. 62ページ11行)

abdanken ★ GR.NEU によると、本来別れ際に世話になった礼を言うという意味であったが、次第に謝辞の意味が薄れ、「去る」「離れる」の意味になった。vi. ① (食事のあと) 謝辞を述べる；礼を言って辞する。 *Nach dem die Mallzeit vollenbracht war, war es zeit[...], dz man abdanccken solte.* 食事が終わると […] 謝辞を述べる時間になった。 (SCHILTB. 378ページ32行)
② (3格から) 離れる、別れる。

abdrohen (別形 *abtreuwen*) vt. (人³物⁴) 脅し取る。【類義語 *abschrecken*】 *da etwan ein Muter ein Dochter hat, die sol sie wol etwan selber einem reichen Pfaffen oder einem Edelman heimfüren oder als Wescherin heimschicken und inen allen Gelt abtreuwen und abschrecken* 母親に娘があると、おそらく自分から娘を金持ちの坊主や貴族のところへ送り出し、また洗濯女として送り込み、その人たちすべてからお金を脅し取ります (PAULI(1)(2), 16話)

abendessen n. (宗教的に) 最後の晩餐。

In iren sunden sy wandern | Zu dem lesten abent ezzen, | Do ir ydoch wirt vergezzen. 彼ら (悪人) は最後の晩餐で罪の中をさまよい、そこで忘れ去られる。 (HIJOB, 5629行)

abendregen m. 秋雨。vgl. *morgenregen* (春雨) ★ FW によれば、宗教的なテキストで比喩的に用いられる。 *SO seid nu gedultig, lieben Brüder, bis auff die zukunfft des HErrn. Sihe ein Ackerman wartet auff die köstliche frucht der Erden, vnd ist gedültig darüber, bis er empfahe den Morgenregen,*

und Abendregen. 兄弟たちよ、主が来られるまで辛抱しなさい。見よ、農夫は大地の貴重な実りを待ち、春の雨と秋の雨を受け取るまで辛抱している。
 (LUTH, ヤコブの手紙5, 7)

abenteuer f./n. 奇妙なこと, 不思議なこと; 奇行. *Es begab sich, das ein Priester von Sinnen kam und treib vil Abenthüer und kunt jederman ein Schlotterlin schlagen und etwas sagen. あるとき一人の司祭が正気を失い, 多くの奇行を行なって, 誰にでもいたずらをしたり, 何か言ったりしました。*
 (PAULI(1), 610話)

abenteuerlich (別形 ebenteuerlich) adj. ① 賢い. ② 勇敢な, 大胆な. ③ 奇妙な, 風変わりな. ★ ACKERM. (1) の10章13行および29章11~12行にこの語が使われている. 10章13行: *Wie die behenden, abenteurlichen, hochgelerten und allerlei meisterschaft wol vermügenden leute 俊敏並外れた博学にしてかつ冒険心に富む, またありとあらゆる技芸に熟達した人間* (ACKERM. (4)). abenteurlichen に対して ACKERM. (5) は「果敢で」と訳し, ACKERM. (2) の現代語訳は *außerordentlichen*, ACKERM. (3,2) の注釈では (aus der Menge) *herausragend, auserlesen* としている. GR. NEU では語義1の中で本来の意味 (*ritterlich, tapfer, kühn, wagemutig*) から派生した意味 (*kenntnisreich, verständig, beschlagen*) の例として当該の箇所を挙げている. FW は語義1 (*weise, klug, vernünftig*) の項目にこの例文を入れている.

29章11~12行は以下のとおり: *jeder abenteurlicher und sinniger man ありとあらゆる傑出した理性的な男性* (ACKERM. (4)). ACKERM. (5) は「卓抜した」と訳し, ACKERM. (2) は現代語訳として *erfahren* をあてている.

本辞典では「とびぬけた」「卓抜な」という意味は載せなかったが, 文献によってはこの意味を挙げていることを指摘しておきたい。

abenteurer (別形 *aventürer, obentürer*) m. ① 旅の職人, 遍歴職人; 行商人. ② いたずら者, いかさま師, 山師. *Und es kam uff ein Zeit ein*

Abenthürer oder ein Sprecher über des Kaisers Vespasianus Tisch, da er mit dem Fürsten ab, ある時皇帝ヴェスパシアヌスが諸侯と食事をしていた食卓に、流れ者の道化師がやって来ました (PAULI(1)(2), 189話). *Abenthürer, wahn, Gauckelman?* おい、どこへ行くのだ、いたずら者. (PAULI(1)(2), 658話) ★①の意味では Krämer, Kaufleute, ②の意味では Gaukelmann (= Gaukler), Spielmann, Sprecher などと並置されることが多い。

aber (別形 ab) I. adv. ① 再び, もう一度. *Und verwonte die Lüt, wie er aber uff dem Seil wolt gon.* (オイレンシュピーゲルは) 人々に、彼がまたもや綱渡りをしようとしていると思わせました. (EULENSPIEGEL, 4話) ② さらに, 加えて. II. cj. しかし.

abermal I. adv. 再び, もう一度, さらに. *Abermal ist gleich das Himmelreich einem Kauffman, der gute Perlen suchte.* また天国はよい真珠を探している商人に似ている. (LUTH, マタイ13, 45) *Abermal gieng er aus, vmb die sechste vnd neunde stunde,* 再び彼は6時と9時に出かけた (LUTH, マタイ20, 5) II. n. 印, 記号. 【類義語 aberzeichen, aberziel】

abermann m. 「しかし」を多用する人; いつも反対する人. *Doch sagt ein alter Abermann vnter jnen...* ところが中に一人の年老いた「しかし男」がいて…こう言った… (SCHILDB, 347ページ34行, 『ラーレ人』71~72ページ) ★ SCHLDB の注によれば einer, der immer Einwände macht (いつも反対する人) とある. しかしテキストではこの男が自分の言説で aber を多用しており, 異議を唱えているわけではない. GR.NEU はこの箇所を引用し, *der häufig die conj. aber verwendet* (接続詞 aber を多用する人) としている.

aberwitz m./f. 狂気, 頭がおかしいこと. *in die aberwitz gehen* 気が狂う. =nhd. Wahnwitz. *Er ist vor in die Aberwitz gangen* 彼は以前から頭がおかしくなっていた (PAULI(1) 20話) *Der Alt ist nit witzig, er gat in der Aberwitz, er ist wanwitzig worden,* あの年寄りは賢くない. 気が狂っている. 頭がおかしくなったのだ. (PAULI(1) 544話) ★ 2番目の例では in

der Aberwitz と 3 格が用いられており，状態を表わしていると考えられる。

aberwitzig adj. 気が狂った，頭がおかしくなった。【類義語 wahnwitzig】

aberzeichen n. 印；目標。【類義語 abermal, aberziel】

aberziel n. ① 標的。② 節度，けじめ。 *Es ist ein Wort: Mesikeit stat wol in allen Dingen. Es solt keiner trincken, er solt ein Aberzil haben, damit er nit zu vil trincke.* 物事にはすべて節度がある，という言葉がある。飲んでではない，飲みすぎないように節度を持たねばならない。（PAULI(1) 239話）
【類義語 abermal, aberzeichen, mäßigkeit】

abessen vt. 食べ尽くす。 *Sie erschracken und forchten, [...], er würd die Weid abetzen,* 彼らは驚き，領主の家畜（er は飼育係だが，意味的にはその家畜を意味する）が牧草地を食い尽くしてしまうのではないかと恐れた。（PAULI(1) 362話）

abfertigen vt. (人⁴を) 派遣する。 *die Olha hat die Potten lebendig begraben lassen/ vnd sy jre leut zu den Drewlianern abgeuerttigt/* オルガは使者たちを生き埋めにさせ，またデレヴリャーネ族に自分の者たちを派遣した（BK, 115, B3, recto 10~11行）【類義語 ausfertigen】

abgang m. ① 衰退，衰微。 *jrer Gütern vnd Gewerben abgang* 自分たちの財産や生業の衰微（SCHILDB, 323ページ26行，『ラーレ人』28ページ） ② 死。 *nach irs Vatters Abgang* 彼女の父親が亡くなったあと（PAULI(1), 619話） ③ 不足。 *Hetten die Schweitzer [...] großen mangel und abgank an koren.* スイス人たちは穀物が大いに不足していた（16世紀，FW より引用）

abgehen vi. ① 止む，消える。 ② 減びる。

abgescheidete f. 離縁された女性。 *wer ein abgescheidete freiet, der bricht die Ehe.* 離縁された女性と結婚する者は姦通したことになる。（LUTH, マタイ 5, 32） vgl. scheiden.

abgetun → abtun

abgünstig adj. 妬み深い，悪意のある。 *der Teuffel [...] ist auch ein*

abgünstiger, listiger vnd verführischer Geist, 悪魔はまた妬み深く, ずる賢く, 誘惑する霊である, (FAUST, 179ページ13行)

abhalten refl. 自制する, おとなしくしている, 身を慎む. *Vnd wölt euch nachgonds halten ab*, お前が今後身を慎むなら, (MURNER(2), 3576行). *sich abe halten von aller sundenn* あらゆる罪を犯さないようにする (1504年, GR.NEU より引用) *hat er sich .. in der .. fastenzeit von essen und trincken .. abgehalten* 彼は断食の期間, 飲食を控えた (1591年, GR.NEU より引用)

abhändig adj. (machen や werden とともに用いられる) 失われた, 奪われた, 滅んだ. *alles, was lebet, muß von unserer hende abhendig werden*. 生きているものはすべて私の手によって滅びなければならない. (ACKERM. (1), 12章7行)

abhelfen vi. (人³物²) 手伝ってある人からある物を取り除く. *Der (= anfechtung 心配, 悩み) mir kan niemandt heffen ab, ... , wenn du* この悩みはあなた以外誰も私から取り除くことができない (『ザックス』55ページ)

abhin adv. 下の方へ. =nhd. hinab. *der Leib und das Haupt schwamen das Wasser abhin*. 体と首は川を流れ下って行きました (PAULI(1) (2), 681話)

abjagen vt. (人³物⁴) 奪う. *Vorhte daz man alle vrist | Mir her und dar vintlich lage | Und diz leben mir ab jage | Mit gifte oder mit dem swerte*. (私は) 誰かがいつも敵意をもって私をつけ狙い, 毒か剣でもって私からこの命を奪うのではないかと恐れている. (HIOB, 6186行)

abkommen vi. (2支) 免れる, …から離れる. *Ich wolt, das in der tüfel nem, | Das ich des schelmens nun ab kem!* 彼が悪魔にさらわれて, 私がその悪人と手が切れたらいいのにと思う. (MURNER(1), 95章117行) *Du kumst sein in ewigkeit nit mehr ab* / お前はもはや永遠に彼から逃れられない. (KNAB.SPIEGEL, 20ページ7行)

ablæssbrief m. 免罪符, 贖宥状. *Zwen Burger giengen uff ein Zeit uß einer*

Statt gen Rom, Ablaßbrieff da zu überkumen. あるとき二人の市民が免罪符を受けるために、ある町からローマへ向けて歩いてきた。（PAULI(1), 83話）★ Pauli の83話では冒頭に上の文があり、そのあとは一貫して Brieff と書かれている。

ablassen vi. 弱まる、衰える。 *Min smerze nicht lezet abe, | Den ich gewurtzelt in mir habe. 私の中に根付いている苦痛は弱まることがない。（HIOB, 6505行）* vt. ① やめる。 *Ich bitt dich aber lieber Wilbalde wöllest deinen zorn gegen mir ablassen und mir verziehen/ 親愛なるヴィルバルト、お願いだから私に対するお前の怒りを鎮め、私を許してほしい、（KNAB.SPIEGEL, 76ページ32行）* ②（宗教的に罪を）許す。 vgl. nhd. Ablass. *Die sündt laßt mit ab got der herr, | Du diegest dann ein wider ker お前が償いをしない限り、主なる神は罪をお許しにならない（MURNER(1) 66章44行）* ★ diegest : tuest. dann : 除外文を示す。

ablassung（別形 ablausung）f. 免罪, 贖宥。【類義語 absolutz】 vgl. nhd. Ablass

ablehren vt. 学び取る。 =nhd. ablernen. vgl. lehren. *Wie wölle aber die Wirt zu Got kumen, die Cristo sein Kunst ab haben gelert, der kunt uß Wasser Wein machen! 水からワインを作ることができるキリストからその技術を学び取った居酒屋の主人たちは、どうやって神のもとへやってこようというのでしょうか。（PAULI(1), 374話）*

ableiben I. vi. 死ぬ。 =nhd. ableben II. n. 死。 *das derselbigen einer, [...] sich daselbsten mit Weib vnd Kindern nider gelassen, vnd dieselbige nach seinem ableiben hinderlassen habe. 彼らの一人が妻子とともにその地に定住し、自分の死後子供たちを残した。（SCHILDB, 317ページ36行, 『ラーレ人』19ページ）*

ablesen vt. 摘み取る。 *Untz daz die vrucht wert ab gelesn. 果実が摘み取られるまで。（HIOB, 10485行）*

ablieden vt. 切断する；(話を) やめる. *So muß ich hie woll halbe | Die rede durch kurtz abe lyden,* ここで途中だが少し話を中断しなければならない, (MINNEBURG, 1935行)

ablügen vt. (人³物⁴) だまし取る. *Zum andern/ sind sie geitzig/ vnd liegen den Witwen jr gelt vnd gut ab/ mit dem schein/ das sie Gott für sie bitten wöllen.* 二つ目に彼らは欲張りで、未亡人たちのために神に祈ろうとするそぶりを見せながら、彼女たちからそのお金や財産をだまし取っている. (BK, 135, Blatt 30, verso 1行)

abmeien vt. 刈り取る. =nhd. abmähen. *Etlich waren der meinung, man solte es abmeyn, wie das Gras* 幾人かは草のように刈り取るべきだという意見であった (SCHILDB, 354ページ33~34行)

abnehmen vt. ① 屠殺する, 屠畜する. vgl. nhd. schlachten. *Es fügt sich, das er ein Ferlin het abgenumen,* 彼が子ブタを屠殺するということがありました (PAULI (1) 248話) ② 気づく, わかる. *Flucks nimb das eyssen, weil es ist heiß, | Und trag es sittlich auß dem kreiß, | Das ich darbey mög nemen ab, | Was vor ein frommes weib ich hab!* 熱いうちにさっさと鉄をつかんで、きちんと輪の外へ運び出せ、俺がどんな貞淑な女房を持っているかがわかるように. (『ザックス』71ページ)

abplündern vt. (人³物⁴) 奪う, 略奪する. *Sie hat mir abgeplündert | Min freude,* それ (ミンネ) は私から喜びを奪った, (MINNEBURG, 2319行)

abreden vt. ① 取り決める. *Dann alle ding waren zuvor abgeredt /* というのも、すべては事前に話がついていたからです. (KNAB.SPIEGEL, 65ページ23~24行) ② (人⁴) 考えを否定する, 思いとどまらせる. 【類義語 *absprechen*】 *so finndst lüt die sich kümmerlich abreden lassend / daß sy nit etwas gspänsts gehört habind.* そんなわけで、何か幽霊のようなものを見たと言い張って譲らない人々がいるのである (=自説を撤回させられない人々をあなたは見かける) (BK 215, Blatt 37, verso 29行) ★例文中, nit は否定

的な文脈に現れた冗語的（pleonastisch）な語と解釈される。 refl. 言い逃れる。 Also ret er sich ab. こうして彼は言い逃れた（危うく殺されそうになったが、説得によって殺されずに済んだ）（PAULI(1), 480話）

abrer n. 食べ残し。 *Der (= spise) azz ich furbaz nimmer mer, | Ez were dann daz ein abe rer | Ich yendert funde mir zu lap,* 私はその食事をそれ以上食べなかった、ただどこかに食べ残しを見つけて元気をつけた（MINNEBURG, 5240行）

abrichten vt. ①（動物を）訓練する，調教する。 *Er hat den hund dahin abgericht / das kein armer mensch zu seiner hausthür kumen darff / 貧しい人が戸口に來られないように、彼は犬をしつけた。*（BK 235, 50ページ3行）
② 教えて…させる，仕向ける。 *das macht sein üppig und böß gsellschaft / die ihn dann zu sollcher büberey abrichtet / こうさせているのは彼のあつかましい悪い仲間で、彼をそのような悪行へ駆り立てるのです。*（KNAB. SPIEGEL, 25ページ18行）
③ 苦しめる，痛めつける。 *Also hat mich der new Christus biß auff das hinderst mit meim arß auß gemergelt vnnd abgericht.* このように新しいキリストはお尻に至るまで私を疲れさせ、苦しめた。（VIERHUNDRT SCHWÄNKE, 215 ページ 34 行， = Jacob Frey: Gartengesellschaft）

abrichtung f. 指示。 *Darumb hab er, der beurischen sitten beschuldigt zu werden, sich befürchtet, und dieses Abrichtung mit fleiß genug gethan.* それゆえ自分は粗野な振る舞いをとがめられるのではないかと恐れ、この人の指示に一生懸命従ったのだ。（VIERHUNDRT SCHWÄNKE, 339ページ23行， = Hans Wilhelm Kirchhof: Wendunmuth）

absagen vi. (人³) 絶交する，縁を切る；けんかを売る，宣戦布告する。 *Lassen euch den pfaffen nit beraten | Zu diser grosen nerrischen daten, | Das ir dem tüffel ab solt sagen | Vnd zu gsagte feintschafft zu im tragen.* 司祭に惑わされて、悪魔にけんかをふっかけ、敵対するなどという大それた馬鹿げたこ

とをするな. (MURNER(2), 1236行)

abschaben vi. 立ち去る, 逃げる. *Nu wirt zu mir gesprochen: schab ab!* 今や私は「うせろ (くたばってしまえ)」などと言われるのです. (ACKERM.(1), 3章19行) ★ ACKERM.(2) の現代語訳では Kratz ab!

abschatzen vt. (人³物⁴) 奪う. *Tryeben hertlich und ir gut | In schatzten ab mit harme:* ひどく追い立て, 彼らからその財産を奪って悲しませた (HIOB, 1439行)

abscheid m. ① (会う) 約束. (*Ulenspiegel*) *reit wider gen IBleven und find die drei Kouflüt so als ihr Abscheid waz.* (オイレンシュピーゲルは) アイスレーベンに戻ると, 約束どおり3人の商人がいました (見つけました). (EULENSPIEGEL, 78話) ② 決議, 決定. (*Der Keyser*) *gab jnen, solchs zuerfahren eine frag auff, darüber sie das Gericht besitzen, vnd jm jres Rahts Abscheid sagen solten.* (皇帝は) それを知るために彼らに課題を与え, それについて裁判を開いて, 会議の結果を報告するように命じました. (SCHILDB, 382ページ18行) ③ 別れ (の挨拶); 出発; 退去. *Vnd hab den handel für geleit, | Dem gantzen bunt daruon geseit | Nach vnserm beiden abscheit.* 私たち二人が別れた後, 私は同盟の全員に我々が話し合ったことを提示して, そのことについて説明した. (MURNER(2), 3711行) *wo du so heimlich on allen abscheid und urlob hinweg zuhest /* もし君が別れの挨拶や暇乞いもなしにひそかに去ったとしたら (KNAB.SPIEGEL, 22ページ8行) ④ 死.

abschlagen vt. 値引きする. *Nun was Gewonheit, wan ein Faß in zweien Tagen nit ußgieng, so must man in umb ein Heller abschlagen.* さて, 2日で一樽売れてしまわないと, ワイン (in) を1ヘラー値引きしなければならぬという習慣がありました. (PAULI(1), 669話)

abschrecken vt. (人³物⁴) 脅し取る. 【類義語 *abdrohen*】 *abdrohen* の例文参照.

absein vi. (2支) …から別れる, 離れる. *Der Alt bleib da, und die jungen mutwilligen Münch waren fro, das sie des Alten ab waren*, 老人はそこを動きませんでした. それで若い気まぐれな修道士たちは, 老人から解放されて喜びました, (PAULI(1), 668話) *da sahe sie ein jungen Edelman zu Ravenna, dem ward sie hold und wer des Mans auch gern abgewesen*. 彼女はラヴェンナで一人の若い貴族を見て, 彼のことが好きになり, 夫と別れられたらいいのと思いました. (PAULI(1), 231話)

absetzen vt. ① 破壊する, だいなしにする. *Damit nun das herwachsende Saltz mit zertretten wurde, oder sonst abgesetzt*, さて育ちつつある塩が踏みじられ, だいなしにされないように, (SCHILDB, 350ページ32行) ② 挙げる.

absolutz (別形 *absolution*) f. 免罪. 【類義語 *ablausung*】 vgl. nhd. *Ablass. du darffest keiner Absolutz, wan du bist in keinem Ban*. あなたは破門されていないのだから, 免罪は必要ありません. (PAULI(1), 618話)

absolvieren (別形 *atzolvieren*) vt. ① 自由にする, 解放する. ② 罪を赦す. *Der Priester absolvirt in und sprach: Ich absolvier dich von allen Sünden*, 司祭は彼に免罪を申し渡して言いました, 私はおまえのすべての罪を許します (PAULI(1), 299話)

abspinnen vi. 立ち去る, 外出する. [...] *hatt er von tag zu tag angefangen abspinnen, sucht jm kurtzweil vnd fröud bei seines gleichen*. 彼は日に日に外出し始め, 仲間のところまで気晴らしや楽しみを求めました. (VIERHUNDRT SCHWÄNKE, 204 ページ 14 行, = Wickram: Rollwagenbüchlin) ★ VIERHUNDRT SCHWÄNKE の注には *sich fort zu machen (abspenstig)* とあり, 「離反する」というニュアンスがうかがわれる. ROLLWAGEN, 44話には *sein Betragen zu ändern* という注があり, 『道中よもやま話』では「本性を現し始め」と訳されている.

absprechen vt. (人³物⁴) 説得して放棄させる, 思いとどまらせる. =nhd.

ausreden. 【類義語 abreden ②】 *Der Altvatter sprach im das ab* 院長はそんな考えを捨てるように言い聞かせ (PAULI(1), (2)689話)

abstehen vi. (3支 / 2支 / von et.) …から離れる, …にそむく; やめる, 放棄する. *Wiltu abston feintlichem haß* お前が敵対的な憎しみをやめるなら (MURNER(2), 3713行)

abstreichen vt. (人³物⁴) 取り去る. *ab er hin von mir slichet | Und mir wider abe strichet | Syner genaden suze schicht* 彼(神)が私から密かに去り, 私から彼の恩寵の甘い層(schicht)を取り去るなら (HIOB, 3232行) refl. 離れる, 去る. *Und itellichen als der wint | Gar sichtlich sich ab strichen | Und von Gote hin dan wichen.* うぬぼれた者たちが風のように視界から去り, 神から離れた (HIOB, 12947行)

abstricken vt. 遮断する, 閉ざす. *dessen (塩) feiler kauff ihnen wegen Schwebender Kriegsleuffen abgestrickt war* 戦局不安定なため塩の安価な購入の道が閉ざされ (SCHILDB, 349ページ15行, 『ラーレ人』74ページ)

abstümmeln (別形 abstümmen) vt. 切断する. =nhd. verstümmeln. *welche (知恵) [...] wie ein alter Weydenbaum, so er abgestümmet wirdt, ausgeschlagen vnnd sich erzeiget hat,* (この知恵は)柳の古木のように一度切られてもまた芽吹き, 姿を現わしたのである (SCHILDB, 352ページ26行, 『ラーレ人』80ページ)

abteidingen (別形 abtädigen) vt. ① なだめる, やんわりと拒否する. *Er aber thetiget sie ab* しかし彼は(結婚を迫った)彼女を拒否した (SCHILDB, 389ページ27行) ② (交渉によって)手に入れる. *CASIMIRVS [...] hat sich gleichwol auch bemuehet dem LASLA Khünig Albrechts nachgeborenen Sun/ das Khünigreich Beham abzuthaidingen* しかしカシミルスはまた, アルブレヒト王の死後に生まれた息子ラスラからボヘミア王国を手に入れようとした (BK 115, D4, recto 21)

abtgrund (tは意味なくついたもの) m. 深淵, 奈落. =nhd. Abgrund. *der*

helle abtgrund 地獄の深淵（ACKERM. (2), 1章11行）★添音の t（t-Epithese）は ACKERM.(1) や (3.1) には見られない。

abtilgen vt. ① 消す, なくす, 根絶やしにする. =nhd. austilgen. [...]| *Das mancher in abdilcket nie.* 多くはそれ（災いをもたらす口〈mundt〉）を根絶やしにすることはない。（MURNER(1), 66章9行）② 否定する. […] *so er die rein entpfengknüß der muter gottes Marie abtilget.* 彼が聖母マリアの処女懐胎を否定するなら（FWより引用, Murner）

abtun（別形 abgetun）vt. ① 廃する, やめる. *Ich hab es doch vormals abgthon,* 私はそれ（ミサを挙げること）をとうの昔にやめてしまった（MURNER(2), 1226行）② 殺す, 滅ぼす; 屠殺する. *Der Nar thet den Fogel ab und briet in und aß in.* 道化はその鳥を殺し, 焼いて食べてしまいました。（PAULI(1), 52話）refl. ①（髪を）ほどく; 服を脱ぐ. *Man treibt grose Hoffart an dem Kopff mit dem Flechten und grosen Köpffen, und wan sie heimkumen und sich abgethun,* so steckt etwan ein Baderhütlin daryn. 髪を結ったり膨らませたりして, 頭を大仰に飾り立てる女の人がありますが, こういう人たちが家に帰って髪をほどくと, 中身は小さな頭巾一つということがあるものです。（PAULI(1), (2) 86話）★VIERHUNDRT SCHWÄNKEの注では, この abgethun に対して ausziehen と説明されている。②（2支）…をやめる. *thet er sich seiner Leichtfertigkeit ab/ vnnd ward ein Hochgeachter Man/* 彼は軽薄な振る舞いをやめ, 尊敬される人物となった.（BK 255, Blatt 10, verso 4~5行）*das er sich des Hirten stabs ab thet / und sich allein seiner sackpfeiffen und singens begieng /* 彼は羊飼いの杖を手放し, そのバグパイプと歌だけで生計を立てました.（KNAB. SPIEGEL, 75ページ3行）

注

1) 本稿は2018年度関西大学学術研究員としての研究成果である。

参考文献

- (辞典の中と同じ略記号で記してある。日本語タイトルを使ったものは後方に挙げてある)
- ACKERM.(1) : Johannes von Tepl: der ackerman. Hrsg. v. Willy Krogmann, F. A. Brockhaus, Wiesbaden. 1978.
- ACKERM.(2) : Johannes von Tepl: Der Ackermann. Hrsg. v. Christian Kiening, Reclam, Stuttgart. 2002.
- ACKERM.(3.1) : Johannes von Saaz: Der Ackermann aus Böhmen. Band I. Hrsg. v. Günther Jungbluth, Carl Winter, Heidelberg, 1969.
- ACKERM.(3.2) : Johannes von Saaz: Der Ackermann aus Böhmen. Band II: Kommentar. Aus dem Nachlaß von Günther Jungbluth. Hrsg. v. Rainer Zäck, Carl Winter, Heidelberg, 1983.
- ACKERM.(4) : ヨハネス・デ・テブラ著, 青木三陽・石川光庸訳『死神裁判』現代書館 2018年.
- ACKERM.(5) : ヨハネス・フォン・テール著, 石井誠士・池本美和子訳『ボヘミアの農夫』人文書院 1996年.
- BK : Das Bonner Frühneuhochdeutschkorpus (= <https://korpora.zim.uni-duisburg-essen.de/FnhdC/>)
- EULENSPIEGEL : Ein kurzweilig Lesen von Dil Ulenspiegel. Hrsg. v. Wolfgang Lindow. Reclam, Stuttgart 1975.
- FAUST : Volksbücher des 16. Jahrhunderts. Eulenspiegel. Faust. Schildbürger. Hrsg. v. Felix Bobertag. Verlag Spemann, Berlin und Stuttgart, 1887.
- FW : Frühneuhochdeutsches Wörterbuch. Hrsg. v. Robert R. Anderson · Ulrich Goebel · Oskar Reichmann. Walter de Gruyter, Berlin · New York. (分冊あるいは合本の形で刊行中のため, 年号等は省略)
- GR.NEU : Deutsches Wörterbuch von Jacob und Wilhelm Grimm. Neubearbeitung. Hrsg. v. der Deutschen Akademie der Wissenschaften zu Berlin in Zusammenarbeit mit der Akademie der Wissenschaften zu Göttingen. S. Hirzel Verlag. (分冊あるいは合本の形で刊行中のため, 年号等は省略)
- HIOB : Die mitteldeutsche poetische Paraphrase des Buches Hiob. Hrsg. v. T. E. Karsten. Wiemannsche Buchhandlung, Berlin 1910.
- KD : 工藤康弘 : 『初期新高ドイツ語小辞典』大学書林 2018年.
- KNAB.SPIEGEL : Georg Wickram: Sämtliche Werke, Hrsg. v. Hans-Gert Roloff, Bd. 3: Knaben Spiegel; Dialog vom ungeratnen Sohn. W. de Gruyter, Berlin, 1968.
- LUTH : D. Martin Luthers Werke. Kritische Gesamtausgabe (Weimarer Ausgabe) 6. Band: Die Deutsche Bibel. 1929.

初期新高ドイツ語中辞典作成の試み（1）

ab~abtun（工藤）

- MINNEBURG : Die Minneburg. Hrsg. v. Hans Pyritz. Akademie-Verlag, Berlin 1950.
- MURNER (1) : Die Narrenbeschwörung. In: Thomas Murners Deutsche Schriften mit den
Holzschnitten der Erstdrucke. Bd. 2, Hrsg. v. M.Spanier, de Gruyter 1926.
- MURNER (2) : Von dem grossen Lutherischen Narren. In: Thomas Murners Deutsche
Schriften mit den Holzschnitten der Erstdrucke. Bd.9, Hrsg. v. Paul Merker, Trübner
1918.
- PAULI (1) : Johannes Pauli: Schimpf und Ernst I, II. Hrsg. v. Johannes Bolte. Georg Olms,
Hildesheim · New York, 1972.
- PAULI (2) : ヨハネス・パウリ『冗談とまじめ』名古屋初期新高ドイツ語研究会訳（同学社）
1999.
- ROLLWAGEN : Georg Wickram: Das Rollwagenbüchlin. Reclam, 1968.
- SCHILDB : FAUST と同じ.
- VIERHUNDRT SCHWÄNKE : Vierhundert Schwänke des Sechzehnten Jahrhunderts. Hrsg.
v. Felix Bobertag. Wissenschaftliche Buchgesellschaft, Darmstadt, 1964
- 『ザックス』: 藤代幸一, 岡田公夫, 工藤康弘『ハンス・ザックス作品集』（大学書林）1983.
- 『道中よもやま話』: イェルク・ヴィクラム著, 名古屋初期新高ドイツ語研究会訳『道中よも
やま話』（講談社学術文庫）2001.
- 『ラーレ人』: 大澤峯雄, 櫻井春隆『ラーレ人物語 不死身のジークフリート』（国書刊行会）
1987.